

多摩地域の登録検案医確保及び検案業務サポート事業について

1. 事業の概要

【実施内容】

○新たな検案医確保のためのセミナー

若手検案医の確保、将来の登録検案医増などにつなげるため、医学部生や院生等を中心とした法医学セミナーを実施

○「検案業務サポート研修」の実施

診療で多忙な検案医がより受講しやすく、かつ制度を着実に向上させるため、症例検討等を主とした検案制度の向上に特化した研修を実施

【実施方法】

- ・当事業は、多摩・島しょ監察医務業務の一環として、東京都医師会に委託
- ・研修の実施に当たっては、学校法人慈恵大学・学校法人杏林学園と協力して実施

2. 事業スケジュール

		1年目	2年目	3年目
		平成28年度	平成29年度	平成30年度
新たな検案医確保のためのセミナー	事業	→	→	→
	効果	セミナー実施	セミナー実施	セミナー実施
検案業務サポート研修	事業	→	→	→
	効果	研修実施	研修実施	研修実施
医師会と協力した周知活動		リーフレット等による地区医師会員への周知		

3. セミナー・研修の実施状況

【新たな検案医確保のためのセミナー】

○平成28年度（平成29年3月実施）

- ・基調講演 ～東京都における死因究明の現状～
 - ①東京の死因究明
 - ②監察医の仕事 ～監察医務院の業務・研究の紹介～
- ・都内における法医学教室の活動（東京大学、日本医科大学、東京医科歯科大学、日本大学、東京慈恵会医科大学、杏林大学）
- ・意見交換会
 - ※アンケートより…約9割の回答者が法医を志望したいと回答

○平成29年度（平成30年3月予定）

【検案業務サポート研修 ※直近2回のみプログラムを抜粋】

○平成28年度…10月、12月、2月の3回実施

※アンケートより…回答者全員が今後も参加したいと回答

○平成29年度…6月、10月、11月、2月（予定）の4回実施

【10月：慈恵医大】

- ・死体検案とは（概論）
- ・死体検案の実際（手順・手技と考え方、大学法医学・臨床医の場合）

【11月：杏林大】

- ・日本法医学会の大規模災害・事故への支援—東日本大震災での活動を中心として—
- ・列車事故での支援経験から

4. 今後について

- ・法医学セミナーの参加者からは、法医を志望したいと回答した人が多くおり、検案医の確保につながると考えられる。
- ・検案業務サポート研修の参加者からは、今後も継続的に参加したいという意向が強く、検案精度の向上等に一定の役割を果たしていると考えられる。
- ・大規模災害やテロ発生時の対応が求められている。検案医の確保や検案精度の向上には継続して取り組む必要があることから、平成31年度以降も当該事業を実施していく。
- ・登録検案医として求められる要件について、具体的に検討していく。